学校番号	213

令和８年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）　　新日本史研究ノート 標準編（啓隆社） 山川一問一答日本史（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１　教科書・資料集をこまめにチェックし、史料や地図、写真などで多角的な理解を深める。
２　板書事項や空欄をノートやプリントに書くだけでなく、説明や発問の内容を自発的にメモする。
３　語句の暗記だけではなく、歴史全体の流れを理解する。
４　日本だけではなく、日本と諸外国との関係にも目を向ける。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】

時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明・議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さなどを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通し養う日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期中間	第１章　日本文化のあけぼの	1 文化の始まり ・日本列島の自然環境がどのように変化し、人々の生活や文化にどのような影響を与えたか考察する。 ・現代の日本人は、どのようにして形成されたのか理解する。	a: 日本列島の旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や世界史との関連で理解している。 b: 石器・遺跡などの考古資料をもとに旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 c: 旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料やグラフなどの読み取り など	プリント 授業の振り返り ワークブック
		2　農耕社会の成立 ・水稲耕作など大陸から伝わった新しい文化や技術は、人々の生活にどのような影響を与えたか理解する。 ・大規模な墳丘墓の出現は何を意味する考察する。 ・小国の王はなぜ中国の皇帝に使者を派遣したのか考察する。	a: 水稲耕作・金属器の社会への影響を理解するとともに、遺跡・出土品からわかる時代の特徴を理解している b: 小国成立と連合への発展を、考古資料・文献史料を通して、考察した結果を、根拠を示して表現している。 c: 弥生文化の特色を考古資料と活字史料を読み取り、明らかにしようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料やグラフなどの読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第２章	1　古墳文化の展開 ・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容	a: 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色	定期考査 ワークブック	定期考査 レポート・発表	プリント 授業の振り返りシ

		からとらえる。 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ・古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	を理解している。 b: 中国の歴史書や、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国・朝鮮半島との交渉や、小国の形成過程を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 中国・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	（基礎知識）	（歴史的思想） 史料やグラフなどの読み取り など	ート ワークブック
1学期中間	第2章　古墳とヤマト政権	2　飛鳥の朝廷 ・ヤマト政権の政治過程と大陸文化摂取を考察する。 ・飛鳥文化とその世界史の影響を理解する。	a: 推古朝の政権運営や飛鳥文化の特色を、東アジアとの交渉を通して理解している。 b: 仏教伝来や遣隋使派遣など、東アジアとの関連を資料をもとに、表現している。 c: 東アジア世界とのの関係に着目して、推古朝の政治・文化の展開を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料やグラフなどの読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第3章　律令国家の形成	1　律令国家への道 ・律令国家が成立の政治過程の考察と、国内統治体制について理解をする。	a: 隋・唐・朝鮮三国など、東アジア情勢と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 b: 天智朝から持統朝の政治動向から律令体制整備の過程について考察し、表現している。 c: 東アジア情勢に着目して、律令体制の成立とのつながりを明らかにしようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料やグラフなどの読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
1学期期末	第3章　律令国家の形成	2　平城京の時代 ・奈良時代を、平城京の政治過程や土地政策を中心に、律令体制を多角的・多面的にとらえて考察する。	a: 律令の制定とその内容、平城京造営、東アジア世界との外交、地方社会の動きなどを理解している。 b: 奈良時代政治過程と土地政策の史料に基づき考察しその連を表現する。 c: 律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		3　律令国家の文化 白鳳文化・天平文化の政治的背景と国際性や、国家仏教に着目して、古代国家の展開を理解する。	a: 隋・唐のとの関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成に関連する仏教文化の特色を理解している。 b: 盛唐文化の影響、国史の編纂や仏教美術の展開、鎮護国家の思想の誕	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

			生などについて考察し、表現している。 c: 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。		み取り など	
1学期期末	第3章　律令国家の形成	4　律令国家の変容 ・平安前期の政治改革を、東北経営や地方統治の変容と関連、律令体制の変質を考察する。 ・東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	a: 東アジア世界の変貌、律令国家と社会の変化を、宗教をはじめ文化との関係などに着目して、平安初期の日本列島の歴史の変容を理解している。 b: 東北地方支配の展開、東アジア世界との関係の変化を踏まえ、藤原北家の台頭、地方支配方式の転換を史料的根拠を示し表現している。 c: 東アジアとの関係の変化や社会の変化、文化との関連を地図・史料から主体的に読みとろうとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第4章　貴族政治の展開	1　摂関政治 ・摂関政治の成立過程の考察と、遣唐使停止の背景にある東アジア世界との民間貿易や交流の展開をとらえる。	a: 摂関政治確立過程を年表・史料から読み取り理解している。 b: 摂関政治の特色を考察し、表現している。 c: 摂関政治期の国際関係・政治・社会の特色を追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　国風文化 平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたが、そこにも東アジア世界との交流の存在があったことを押さえ、理解している。	a: 遣唐使停止、浄土教の出現、かな文学と国文学の発達等、主に貴族文化の特色を理解している。 b: 具体的な作品を通して、政治と文化との関係を考察し、その関連を見出そうとしている。 c: 平安時代の政治と文化との関連性を追究している。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		3　地方政治の展開と武士 律令に基づく地方支配体制の行き詰まりと、公領支配の変質、荘園の拡大の経過を関連させて考察する。同様の地方支配の変質が、地方の反乱や支配の混乱をもたらし、その平定を通して、武士の成長・台頭を、源氏・平氏を例に考察する。	a: 律令国家の地方支配の中、開発領主の登場、などの特色や変容を理解している。 b: 国司の地域支配の変容と公領の変質、荘園の発達などを史料を活用して、表現している。 c: 受領国司や徴税方式の転換、武士の出現など、地方の動向が政治・社会に与えた影響を追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

1学期期末	第5章　院政と武士の躍進	1　院政の始まり 院政の成立過程と、院政期の政治・経済・社会・文化を荘園公領制の成立を踏まえながら理解する。	a: 摂関政治と院政の相違点を明らかにし、古代から中世への移行を理解している。 b: 武士の台頭や、荘園公領制の特徴を考察し、中世への時代の変化を表現している。 c: 中世社会の萌芽を具体例を出して考察し、追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　院政と平氏政権 初の武家政権としての平氏政権の特性と、院政期の文化について考察する。	a: 平氏政権の成立過程を、宋との交易を含め、諸資料から読み取り、武士の政治進出について理解している b: 荘園公領制や知行国など院政期の社会の特色を踏まえて、平氏政権の性格を多面的に考察、表現している c: 平氏政権の特色を、史料や『平家物語』などの文学作品を読み取り追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
2学期中間	第6章　武家政権の成立	1　鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府はいつ成立したのか、その成立過程を理解する。	a: 源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府機構の内容と、公武二元的支配構造、封建制度の成立などを理解している。 b: 鎌倉幕府はいつ成立したのか、公家政権はどう存在したのか、その内容を、諸資料から考察し表現している。 c: 幕府成立の時期の根拠や公武二元的支配の構造を追究・理解し、表現している。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　武士の社会 ・承久の乱にともなう公武関係の変化と執権政治の確立の過程を理解する。 ・武士の生活の様相と在地支配の拡大を理解する。	a: 承久の乱・執権政治・武士の生活と在地支配の拡大を御成敗式目他の資料・史料から読み取り理解している。 b: 承久の乱の影響、公武関係の変化を資料から考察し、表現している。 c: 鎌倉時代をの武家政権特色と武士の生活を中心に、それを主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
2学期中間	第6章　武家政権の成立	3　モンゴル襲来と幕府の衰退 ・モンゴル襲来の影響が、幕府の衰退につながることを理解する。その一方で得宗専制政治による権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透した意義を考察	a: モンゴル襲来の国際的な背景と国内政治への影響について理解している。 b: モンゴル襲来や鎌倉時代の経済の発達と意義について、主として絵画資料を中心に読み取り、表現している。 c: 絵画史料から、当時の社会や文化の内容を読み取ろうと主体的に追究しようと	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

		する。	している。		など	
		4　鎌倉文化 鎌倉新仏教成立の背景を、旧仏教の動向、武士や庶民の台頭を背景に理解する。また伝統的な公家の世界で、有職故実・古典研究などの諸学問が進展した背景を考察する。	a: 鎌倉時代の宗教・文化の特徴について、諸資料から読み取る技能を身につけている。 b: 鎌倉文化を宋・元との交流の影響を含めて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 鎌倉文化を平安文化の継承と、もう一方、両者の差異についても考えようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第7章　武家社会の成長	1　室町幕府の成立 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、考察する。 ・琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	a: 鎌倉幕府滅亡から室町幕府成立後の政治過程、東アジアの国際関係の展開と、史料や地図から読み取り理解している。 b: 南北朝動乱はなぜ半世紀以上も続いたのかを地域の動向から考察する。また東アジアの国際情勢の影響を諸資料から考察し、表現している。 c: 14～15 世紀の武家政権の動向や東アジアの国際情勢の変化などを、諸資料を活用して、両者の関連性を見出そうとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　幕府の衰退と庶民の台頭 諸産業の発達に見られるように、民衆の成長が社会の変革の原動力として顕著になることを、幕府の動揺や下剋上の風潮の中で考察。理解する。	a: 幕府の衰退過程を理解し、資料や史料から、諸産業・地域経済の成長と、その原動力となる民衆が惣村や都市を形成し、自治を確立したことを理解している。 b: 惣村や土一揆・国一揆などの構造を社会・経済の動向と関連付けて考察・表現している。 c: 惣村や自治都市が前時代とどのように異なるのかなどの課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
2学期中間	第7章　武家社会の成長	3　室町文化 ・武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。 ・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とする文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。	a: 室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 b: 室町文化の特徴を当時の政治経済の動向との関係をもとに考察し表現している。 c: 室町文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		4　戦国大名の登場 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名を中心に、	a: 地域史料などの諸資料を読み取り、戦国大名の登場とその領国経営の特徴を理解している。	定期考査 ワークブック	定期考査 レポート・発表	プリント 授業の振り返りシ

		諸地域の動向と関連づけて考察する。	b: 戦国大名の領国統治の特色を地域史料などから考察し、都市の発展も含めて戦国時代の社会の多様性を表現している。 c: 戦国大名がめざしたことなど戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を具体的・主体的に追究しようとしている。	（基礎知識）	（歴史的思想） 史料の読み取り など	ート ワークブック
	第8章　近世の幕開け	1　織豊政権 ・世界史的背景の大航海時代を踏まえ、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。とともに、織豊政権の展開と特色と意義、中世から近世への移行期の特色、その後の時代への影響について理解する。	a: １６世紀における地域社会の変化やヨーロッパ及び東アジアとの交流、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b: 織豊政権の諸政策、ヨーロッパ諸国の進出がアジア及び日本社会に与えた影響などを多面的・多角的に考察、表現している。 c: 中世から近世の移行を多面的・多角的に考察し、織豊政権の意義・特色を追究する問いを表現しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　桃山文化 ・桃山文化に戦国大名や都市の豪商の精神の反映を読み取るとともに、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ・中世～近世への移行期について考察し前後の時代を通観する問いを表現する。	a: 桃山文化の国際性が、生活文化の中にとけ込んだことを、諸資料から読み取り、理解している。 b: 絵画資料などをもとに朝鮮侵略やヨーロッパ人来航による南蛮文化の形成を、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 桃山文化の特色を、中世文化との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
2学期期末	第9章　幕藩体制の成立と展開	1　幕藩体制の成立 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ・鎖国政策の実態について、四つの口の内容を理解し、政治・社会への影響と歴史的意義について考察する。	a: 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などを、諸資料をもとに、幕府法と諸制度の確立や対外政策の推移を理解している。 b: 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 幕藩体制の確立過程の画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　幕藩社会の構造 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を、多面的・多角的に考察する。 ・近世身分制の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。	a: 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会構造を理解している。 b: 新たな支配制度の下、民衆生活生活の具体相について、資料を駆使し、根拠を示して表現している。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

			c: 織豊政権下と幕藩体制下との社会構造をを比較・考察し、連続性を見出そうとしている。		など	
		3　幕政の安定 ・17 世紀後半～18 世紀前半までの幕府政治の安定期について、幕府と諸藩の政治展開と支配秩序の確立を考察する。	a: 元禄時代～正徳期に至る政治の推移について理解している。 b: 幕政の武断主義から文治主義への転換により、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
2学期期末	第9章　幕藩体制の成立と展開	4　経済の発展 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ・全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。	a: 産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度確立による商品経済や流通の発達、三都の繁栄などを文献・絵画資料・グラフから読み取り理解している。 b: 水陸交通の整備や流通の発達が農業・工業・商業などの発達の相互関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c: 諸資料の解明に取り組み、近世前期の交通・流通の発達や産業の発達の様相について、その展開を明らかにしようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		5　元禄文化 ・経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 ・儒学の特色とその諸学問に与えた影響を考察する。	a: 元禄文化の成立の背景は何か、文化の担い手はだれか？などの問について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b: 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 先に学んだ社会・経済の発展が 17 世紀文化の形成とどのように関連しているのかを明らかにしようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第10章　幕藩体制の動揺	1　幕政の改革 ・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ・幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態と背景について理解する。	a: 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などを諸資料から読み取り、享保改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 b: 旧来の「貧農史観」的百姓一揆観を再検討し、商品作物栽培や貨幣経済の発展が、米作が基盤の幕藩体制を動揺させる過程と、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響とそれへの幕政・藩政の対応を考察	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

			し、表現している。 c: 幕政・藩政改革の背景にある社会・経済の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。			
2学期期末	第10章 幕藩体制の動揺	2　宝暦・天明期の文化 ・江戸中期の洋学や国学の確立や、文学・芸能・美術の新展開について、社会の変容による幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ・幕府・諸藩の武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。	a: 幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期での新たな学問の確立や、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 b: 幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性や、文化の担い手と受容者などを、具体的な作品を取り上げて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 具体的な作品解釈から政治・経済と文化の関係や、宝暦・天明期の文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		3　幕府の衰退と近代への道 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応を踏まえて幕府の衰退過程を理解する。 ・雄藩の浮上とその要因とを考察する。	a: 列強の接近や幕政改革に関する諸資料をみて、幕府権力衰退の一方で、工場制手工業など近代の萌芽が現れるとともに、雄藩出現の過程と背景を理解している。 b: 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c: 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		4　化政文化 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ・都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。	a: 政治・経済と文化の関係などに着目して、19 世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 b: 近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 具体的な作品を解釈して政治・経済と文化の関係や、宝暦・天明期の文化との連続性や相違を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

2学期期末	第11章　近世から近代へ	1　開国と幕末の動乱 ・国際社会と世界市場に組み込まれるという国際環境の変化を背景に、日本の開国を考察する。外圧への江戸幕府の対応と雄藩の台頭を、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。	a: 列強のアジア進出の目的を諸資料から読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 b: 開国の日本社会への影響を、政治や経済などの諸側面の変化などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 日本の開国を世界史的視点で見つめ、政治・経済・社会への影響を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　幕府の滅亡と新政府の発足 ・開国とそれにともなう社会の激変の中、尊王攘夷から討幕へと向かう政治勢力が成立し、江戸幕府が滅亡し、新政府が樹立されるまでの経過を理解する。その際に近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	a: 幕藩体制の崩壊と新政権の成立についての経過を、外交・内政・経済・思想の動向を諸資料をもとに理解している。 b: 江戸幕府滅亡の要因は何か？新政府はどんな政治体制をめざしたのか？など、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 c: 幕末の政治動乱の過程を考察することを通じて、近代史学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第12章　近代国家の成立	1　明治維新と富国強兵 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ・文明開化政策の実相と、明治政府の諸改革に反発する士族反乱や農民一揆の発生と、そこから言論闘争へと転換していくを理解する。 ・明治初期の対外政策を、対欧米と対アジアへの外交政策を比較し、考察する。	a: 明治政府による中央集権化諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、地図や絵画資料などを読み取って理解している。 b: 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化を地域史料で確認したり、欧米とアジア諸国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の導入と影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
2学期期末	第12章　近代国家の成	2　立憲国家の成立 ①政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。	a: 自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を絵画・文献の諸資料をもとに考察し理解している。 b: 自由民権運動のは何をめざしたのか？大日本帝国憲法はどのような性格の憲法か？などの問を設定し、その展開過程や内容を多角的に考察し、考察・表現している。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

		②大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。	c: 日本における憲法と議会の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。		など	
学年末（3学期）	第13章 近代国家の展開	1　日清・日露戦争と国際関係 ・東アジアをめぐる国際環境の変容が進む中、不平等条約の改正交渉の進展と、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ・日清・日露開戦に至る国際関係や、戦争の経過、戦後の日本の国際的地位と植民地支配、について、世界史と関連づけて考察する。	a: 条約改正の完成、韓国併合、満洲への勢力拡張などについて諸資料を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している b: 日露戦争期には反戦論が出てきたこと、戦争への性格などについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c: 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 ・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。	a: 第一次大戦が日本に及ぼした影響に着目し、大戦後の協調体制における日本の立場や対外政策の変化、大戦が日本経済にもたらしたことについて理解している。 b: 第一次大戦はどのような戦争だったのか？日本の役割は？中国や朝鮮など近隣諸国民は日本の対外姿勢をどのように受け止めたのか？日本経済はどうなったのか？などの様々な問いを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 対外戦争がもたらした国内的・国際的な影響を踏まえて学習を振り返るとともに、次の昭和前期の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
学年末（3学期）	第13章 近代国家の展開	3　ワシントン体制 ・第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制に至る国際関係の性格と、それに対する日本の協調外交の動きを理解する。 ・大正デモクラシーの風潮の中の様々な社会運動の展開を理解し、普選運動や政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。	a: ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る世界の動向や中国・朝鮮での民族運動の高揚に着目し、国内でも様々な社会運動が展開することや政党政治確立の背景を理解している。 b: 大戦後に国民の権利拡大要求を踏まえ、普通選挙法成立や国際的な反戦意識や民族運動の高揚について多角的に考察し、表現している。一方で、普通選挙法と治安維持法成立との関係を資料をもとに考察し、てみる。 c: 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の意味を考察することを	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

			通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。			
	第14章　近代の産業と生活	1　近代産業の発展 日清・日露戦争前後にかけて日本 の資本主義が確立されていく過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生とそれに対する民衆の行動および政府の対応について考察する。	a: 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域資料も活用して、社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している b: 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、現代社会の諸課題との比較や関連も考え、表現している。 c: 産業の発展とそれによる社会問題への対応について、現代の諸課題の起点を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
学年末（3学期）	第14章　近代の産業と生活	2　近代文化の発達 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。	a: 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b: 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 c: 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		3　市民生活の変容と大衆文化 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の	a: 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想）	プリント 授業の振り返りシート ワークブ

		変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。 ・大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。	b: 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加に加え、服飾・食生活など身近な生活の変化などの生活史の資料も活用して、文化の担い手や地域社会の変容について考察し、表現している。 c: マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会や新中間層が生み出す事象について、自ら主体的に追究しようとしている。		史料の読み取り など	ック
学年末（3学期）	第15章　恐慌と第二次世界大戦	1　恐慌の時代 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出とそれぞれの要因を踏まえるとともに、協調外交が挫折していく過程を考察する。	a: 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 b: 世界恐慌の日本へどのような影響を与えたのか、金融政策と関連付け考察したり、五・一五事件の起こる政治・社会状況を多方面の資料をもとに考察し表現している。 c: 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、当時の人々の論考について考察したりして、戦争への道が開かれていくことと、それとは別の道はなかったのかを主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
		2　軍部の台頭 ・満州事変を例に、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、二・二六事件にみられる軍部の影響力増大や思想統制の過程を考察する。	a: 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 b: 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出や、天皇機関説事件の意味などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 資料を通して、満洲事変や国内の国家改造運動の展開を全体的に見渡し考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

学年末（3学期）	第15章　恐慌と第二次世界大戦	3　第二次世界大戦 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	a: 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次大戦の展開について理解している。証言や手記などのオーラルヒストリーを活用し理解。 b: 日中戦争の長期化や、米などとの戦争に拡大した理由、戦時体制の様相について考察し、表現している。同様に空襲・国民生活の統制・沖縄戦・原爆投下などを例に戦争の当事者意識と今日の内外の課題とも連係して考え、表現している。 c: 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や戦争の具体的実相や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
	第16章　占領下の日本	1　占領と改革 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策と民主的諸改革について、その経過と内容を理解する。 ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	a: 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革や国民の意識や行動も関連させてについて理解している。 b: 戦後の諸改革について連合国特に米国の対日政策に着目し考察するとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代の日本との関連性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と今日的課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
学年末（3学期）	第16章　占領下の日本	2　冷戦の開始と講和 ・米ソの対立を基軸とした国際関係と東アジア情勢の変化と、米国の対日政策の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した経過を考える。 ・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	a: 米ソの冷戦の中での占領政策の転換による日本の政治や経済の展開に関わる諸資料読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印をめぐる国際県警日本の政治・社会状況日本の主権回復の意義について理解している。 b: 新聞記事に記された地域報道などを活用して地域社会の動向にも着目し、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を	定期考査 ワークブック （基礎知識）	定期考査 レポート・発表 （歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

			明確にして表現している。 c: 当時の新聞記事などを読み取り、当時の世論や事件を読み取り、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。			
	第17章　高度成長の時代	1　55年体制 ①独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ②冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	a: 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 b: 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
学年末（3学期）	第17章　高度成長の時代	2　経済復興から高度経済成長へ ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。	a: 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化、過疎化や公害問題など新たに起こる高度成長のひずみなどの諸資料から高度成長期の日本の状況を読み取っている。 b: 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について新聞記事や資料、時に祖父母などの経験者から当時の生活や社会状況を聞き取りなどして多面的・多角的に考察したりしている。 c: 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしてい	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

			る。			
	第18章　激動する世界と日本	1　経済大国への道 ・ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ・高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	a: ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 b: 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因と問題点について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c: 第二次大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて調べ、同時に今日的課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック
学年末（3学期）	第18章　激動する世界と日本	2　冷戦の終結と日本社会の変容 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。 ・科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。	a: 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b: 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察したり、保護者や当時を経験した人からの聞き取りを活用したりして、その結果を表現している。 c: 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのかバブル経済崩壊後の今日までの問題点などを自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている	定期考査 ワークブック（基礎知識）	定期考査 レポート・発表（歴史的思想） 史料の読み取り など	プリント 授業の振り返りシート ワークブック

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度